

## 【主な出来事】

- 18日, 中央選管は大統領選挙決選投票結果を最終確定。憲法裁判所の承認のため送付中。
- 20日, ガガウズ自治区における人民会議選挙（第1回投票）の実施。
- 28～29日, フィリブ首相のブラッセル訪問

## 1. 内政

### 大統領選挙関連

#### ▼各党の反応

- ・15日, レアンカ欧州人民党党首は, ドドン次期大統領はしばしば政治的立場を変える「社会主義的カメレオン」であると批判。議会選挙に向け親欧州勢力の団結を呼びかけ。
- ・17日, サンドゥ「行動と連帯」(PAS) 党首は, 今次選挙ではプラホトニク氏がメディア及び行政リソースにより選挙プロセスを操作した, ドドン氏も資金不正や中傷・欺瞞を行ったと批判。19日には中央選管に関し, 何万名もの在外有権者を無視するなど選挙違反に荷担したと批判。
- ・17日, 自由民主党は, 今次選挙結果を認めない旨発表。
- ・21日, キルトアカ自由党副党首(キシニョフ市長)は, 今次選挙結果は改竄であると批判。

#### ▼ドドン次期大統領の動向

- ・16日, ラジオ自由ヨーロッパのインタビュー。
  - ー今次選挙は国際基準を満たし公正であると評価された。
  - ー議会に於いて社会党は今後も野党であり, 与党とは連合しない。その目標は期限前議会選挙の実現。
  - ー自分は政治的ライバル(サンドゥとナスタッセ)に協議を提案したが無視された。彼らはモルドバの統一を重視すべき。
  - ー対EU関係は不変であり, 大統領には変更する権限なし。連合協定その他の協力は継続。状況改善のための二者・三者協議はあり得, そこには西側・東側双方のパートナーが含まれるべき。国民と議会与党が賛成すれば変更は可能。
  - ー自分の初の外遊先はロシアで, モルドバ産品の露市場回帰を求める。自分が追求するのはバランスのとれた外交。
  - ートランスニストリアについては, 数年以内, 早ければ2017年にも前向きな変化が実現することを期待。連邦制の是非については国民投票で決めるべき。
- ・21日, インターファクスのインタビュー。
  - ー西側の支援によるクーデターで政権に就いた過去6年間のモルドバ親欧州政権は反露政策を取っていた。必要なのは東西のバランスであり, 自分はそのどちらにも偏らない。
  - ーロシアに求めることはモルドバ産品の禁輸解除と自由貿易レジームの復活。EU産品がモルドバ経由でロシアに入る懸念については三者協議が必要。対EU貿易については「自由貿易」ではなく「非対称貿易」を希望。
  - ー50～100万人に上ると言われるロシアへのモルドバ人移民のため, 二国間の移民協定が必要。

ー外国融資は必要だが, IMF等の要求する年金受給年齢引き上げには反対。

ーユーラシア経済同盟への加盟は依然として社会党のアジェンダ。EU連合協定の撤廃は不可能であるが, 東との協力も必要。そのため手始めにユーラシア経済同盟との協力メモランダムを締結し, EU協力の様子を見た後, EU加盟に係る国民投票を行う。EU連合協定は単に国内改革を意味し, EU加盟そのものを意味しない。

ートランスニストリアについては柔軟に対応する。第二のカーングラード化は許されない。

#### ▼18日, 中央選管は大統領選挙決選投票の最終結果を発表。

- ・ドドン氏は83万4,081票(52.11%), サンドゥ「行動と連帯」党首:76万6,593票(47.89%)を獲得。21日, 中央選管は右結果を憲法裁判所の承認を受けるために送付した。
- ・サンドゥPAS党首は右結果を認めず。

#### ▼25日, モルドバ放送調整委員会はTV局への制裁措置を発動。

- ・Publika TV(プラホトニク氏所有), Jurnal TV(ツォパ氏所有), Accent TV及びNTVモルドバ(社会党系)の4局に対し, 選挙報道の深刻な偏向を認定, 72時間に亘るCM禁止措置が取られた。その他いくつかのTV局は罰金処分。

### 政府

#### ▼16日, 憲法裁判事の任期変更に係る法案を承認。

- ・現行の6年(最大2期)を9年に延長し, 1期のみとする。現行6名から7名に増員し, 大統領による任命を必要とする。

### 議会

#### ▼25日, 検事総長の任命に係る憲法改正を採択。

- ・最高検事評議会の提案に基づき大統領が任命することになった(それまでは議会が任命)。任期は7年1期。

### 10億ドルの不正銀行送金事件関連

#### ▼25日, 中央銀行はKroll社の第3次報告書を受領。

- ・6億ドル分の不正送金は2012～14年に行われたことが判明, 最終送金先につき調査中。ラトビア・エストニアを含む多くの国の数百に及ぶ銀行口座の間で数千回の送金が行われた。2億ドルがロシア向け, 95百万ドルがモルドバ国内, 58百万ドルがエストニア向け, 41百万ドルがキプロス向け。

### その他

#### ▼18日, プラトン氏の起訴。

- ・詐欺とマネロンにより Banca de Economii に8億レイの損害

をもたらした疑い。

## 2. 外交

### ▼16～17日、ガルブル外相のアルメニア訪問。

- ・サルキシヤン大統領、ナルバンジャン外相と会談。
- ・17日、EU東方パートナーシップ非公式大臣級対話 に出席。ブリンク米國務次官補代理、ハン欧州委員らと会談。

### ▼21日、ガルブル外相はラウロフ露外相宛メッセージを发出。

- ・2001年11月19日に締結されたモルドバ・ロシア友好協力協定締結15周年に際するもの。両国間協力が戦略的パートナーシップの精神に基づき発展することへの期待を表明。

### ▼28～29日、フィリップ首相のブラッセル訪問。

- ・モゲリーニEU上級代表、トウスク欧州理事会議長、ユンケル欧州委員会委員長、ハン欧州委員、シュルツ欧州議会議長らと会談。EUによる財政支援、モルドバの連合協定実施国家計画と改革実施等につき協議。EU側より、モルドバに対し本年末までに45百万ユーロの財政支援を行う予定を表明。モルドバ新大統領と政府の間の建設的協力を促進。
- ・スルテンベルグNATO事務総長と会談。キシニョフにおけるNATOリエゾン事務所の開設合意に署名。(これに対し、ドドン次期大統領は否定的コメントを发出。)

### ▼28～29日、モルドバ・ロシア政府間経済協力委員会会合(於:モルドバ)

- ・4年ぶりに再開されたもの。カルムイク副首相とロゴジン副首相の他、ガガウズ及びトランスニストリア代表者も出席。
- ・2016～17年の経済・商業関係発展に係る行動計画に合意。貿易障壁の緩和や、モルドバがEUとCIS双方の自由貿易レジームに参加した場合の経済関係等を内容とする。
- ・ロゴジン副首相は、主要課題はまだ未解決であると発言。

## 3. 経済

### ▼16日、モルドバはIMF第1トランシェを受領。

- ・35.9百万ドル相当。

### ▼2017年予算財政政策案。

- ・16日、政府は同案を承認。個人輸入事業者は利益の1%、最低年間3,000ドルを納付する必要。バイオ燃料のVATは0%から8%に増加。輸入電気自動車のVATは免除。アルコール飲料、たばこ及び石油製品のVATはインフレ予測に準じて引き上げ。25日、議会は第1読会で同案を採択。

### ▼25日、財務省は2017年政府予算案を策定。

- ・歳入327.25億レイ、歳出368.81億レイ、歳入不足は41.56億レイの見込み。政府債務は503.4億レイに(うち217.8億レイが国内、285.6億レイが国外債務)。

### 経済協力

#### ▼ルーマニアによる支援

- ・23日、ルーマニア政府は35万ユーロの対モルドバ無償協力を承認。総額1億ユーロの無償支援の一部で、ヤシ〜ウングェニ〜キシニョフ間のガスパイプラインに必要な施設のウ

ングェニにおける建設に使用される。

## 4. トランスニストリア

### ▼駐留ロシア軍に係るカラーシシ露外務次官の発言。

- ・ウクライナ領に「グリーン・コリドー」を作って「ト」駐留ロシア軍及び弾薬を撤退させるとのモルドバ・ウクライナ両国国防相の計画につき、ウクライナによる挑発であると批判。駐留は公的国際合意に基いており、撤退の意向はないとした。

### ▼18日、「ト」大統領候補が確定。

- ・シェフチュク現「大統領」、クラスノセルスキ議会議長、クズミチュク元「内相」、ホルジャン「ト」共産党党首、デリ検察官、グリゴリエフ・オデッサ法律アカデミーティラスポリ支部長、ヴァシラチ氏の7名。選挙は12月11日に実施される。
- ・ロシア世論調査センターの調査(8月)では、クラスノセルスキ支持が25%、シェフチュク「大統領」支持が14%。

### ▼23日、「ト」議会は税制改革に係る「大統領」提案の審議を拒否。

- ・シェフチュク「大統領」が2015年に提案。企業に係る全段階の取引高税につき、品目・目的毎に税率の異なる付加価値税、収益税、資産税への段階的移行を内容とするもの。

### ▼23日、「ト」大統領選挙に係るザハロヴァ露外務省報道官の発言。

- ・ロシアは「いずれの候補の肩も持たない」との明確な立場を有し、「他国での元首・議会選挙には関与しない」とした。

## 5. その他の情勢

### ガガウズ自治区

### ▼20日、人民会議議員選挙の実施。

- ・35議席に126名が立候補し、50%のしきい値を超えた17名が当選。残り18議席は12月4日の第2回投票で決定。
- ・今次投票には有権者12.2万人のうち5.2万人が参加。投票率は42.8%。66カ所の投票所が開設された。

## 6. 各種統計

### ▼トランスペアレンシー・インターナショナルによる汚職バロメーター報告。(17日)

- ・モルドバにとって汚職は深刻な問題:67%。
- ・政府の汚職対策政策は極めて貧弱:84%。
- ・政策決定におけるオリガルキーの影響力は多大:79%。
- ・議会の汚職は深刻:76%。
- ・基本的サービスのために賄賂を払ったことがある:42%。

### ▼世銀による効率的な税制ランキング。(24日)

- ・190カ国中、78位から31位に上昇。税の種類を従来の21種から10種(収益税、社会・労働税3種、その他道路税・地方税・資産税6種)に削減したことによる。なおルーマニアは50位、ロシアは45位、ウクライナは84位。

## 7. 対日関係

### ▼29日、在モルドバ日本大使館は天皇誕生日祝賀レセプションを開催。

(了)